



かおり通信

2月号
NO.12

学校教育目標……『自分らしさを大切に、互いに認め合える子どもの育成』 「自律」と「共生」

めざす子ども像…『共に考える子・互いに思いやる子・みんなでチャレンジする子・最後まで諦めない子』

めざす学校像…『子どもたちから笑顔が絶えない学校・気持ちのいい挨拶、きれいな学校・教職員同士が

専門家として成長できる学校・保護者の期待に応える学校・地域と学校が支え合う学校』

茅ヶ崎市立香川小学校 校長 松永 忠弘 令和8年1月30日

「ありがとう！」があふれる学校

～あなたを笑顔にしてくれる言葉は何ですか？～

1月7日（水）子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

冬休み明けの朝会で、子どもたちにこんな話をしました。

日本語を勉強している外国の方に、こんな質問をしたそうです。

「あなたの好きな日本語は何ですか。」

すると、97か国の国からたくさんの応募がありました。

「一期一会」「七転八起」「頑張る」（頑張ってね）「ありがとう」「一生懸命」「大丈夫」

・・・出会いや感謝、前向きな言葉にあふれていますね。

その中には、「ただいま」「おかえりなさい」という私たちが毎日使っているような当たり前の言葉もあったそうです。よく考えると、迎えてくれる人がいるからこそ言える言葉・・・とてもあたたかな気持ちになる言葉ですね。

「あなたを笑顔にしてくれる言葉は何ですか。」

この質問は、日本の人たちに向けたものです。ダントツの第1位は、何だと思いませんか。

それは・・・「ありがとう」です。

人は、一人では幸せになれません。「あなたがいてくれて、よかった。」「あなたがいてくれて、助かるよ。」誰かに「ありがとう。」と感謝されることが、人の幸せです。

まずは、家族に「ありがとう」と言われるように。

友達に「ありがとう」と言われるように。

教室で隣に座っている子に「ありがとう」と言われるように。

そして、クラスみんなに「ありがとう」と言われるように。

学年、学校みんなに「ありがとう」と言われるように。

いつの日か、もっともっと多くの人に「ありがとう」と言われるように。

そのために、あなたの力を使ってください。

そのために、あなたの力を伸ばしてください。

今日から、新しい年2026年、令和8年の学校での日々が始まります。

「ありがとう」があふれる学校にしていきましょう。

(参考・引用文献：朝日新聞)

「未来予想図」

～6年生・最後のブックトーク～

学校だより12月号でもご紹介させていただきましたが、本校では、全校児童対象に読書活動協力者の大八木美智江先生に「ブックトーク」をしていただいています。1年生は、各学級で年間3回、2年生から6年生、かおり級は年間2回の実施です。

「ブックトーク」とは、読み聞かせや開き読みとは違います。ある一つのテーマを決め、そのテーマにつながる本を何冊か紹介するというものです。本の内容やあらすじを紹介して下さったり、また、時には、その一節を読んで下さったりして・・・「さあ、この続きはどうなるでしょう？」という時もあります。

1月は、6年生にとって最後の「ブックトーク」でした。
テーマは、「未来予想図」。

まず、2030年がゴールとして示されているSDGsに関する本が2冊。身近なことに取り組むことこそが未来を創るんですよ」というメッセージとともに紹介されたのは「SDGsとボくらをつなぐ本」。そして、「日本で1年間に捨てられる食べ物は、プール何杯分？」・・・そんなクイズがたくさん載っている「SDGs図鑑」。 義足のダンサーとして、自分にしかできない踊りを追い求め、「目の前のことは自分次第で成長するチャンスになる」と語るダンサーの本「ぼくらしく、おどる」。「人にどう思われるか」が気になって、いつも自分をかくして生きている主人公、「自分が自分につくってしまうルールとは？」・・・「透明なルール」。 6年生の主人公は、足は遅いけれど走ることは好き。地区駅伝大会の補欠だったけれど、アクシデントがおきて・・・「駅伝ランナー」。「保健室経由、かねやま本館」は、「友だちというより、親友がほしい。学校生活では、みんな悩みがあるよね。そんな人はぜひ読んでみて。第2保健室の不思議な温泉があなたをいやしてくれる」という本。



6年生の子どもたちは、大八木先生のお話を聞きながら「そうそう」とうなずき合ったり、「分る、分る」と共感したりしていました。ご紹介して下さった本は、期待と不安が入り混じった、卒業を間近に控えた今の時期の6年生にぴったりの本ばかりでした。

「1年生から6年生までの6年間、ブックトークをとおしてみなさんに言葉を届けてきました。もしもそんな言葉が目に見えたなら・・・最後に紹介するのは、『ことばのかたち』という本です。」「心の成長は目に見えません。でもね、好きなことをやってみて感じることで、そのことが心の成長につながります。本を読むこともそうです。お気に入りの本、心にしみる本にぜひ出会ってくださいね。」6年間本を紹介して下さった大八木先生の最後のメッセージが、子どもたちの心に確かに届いていることを、お話を聴く子どもたちの眼差しを見て感じました。

【お願い】

○登下校時の車での送迎は、ご遠慮ください。学校周辺の道路への通学時間帯の駐停車は大変危険です。また、近隣の私道や駐車場での無断駐停車もおやめくださいますようお願いいたします。なお、けがや病気、その他の理由で校地内への送迎が必要な場合は、担任までご連絡ください。

(詳しくは1月28日付コクー配信をご覧ください。)